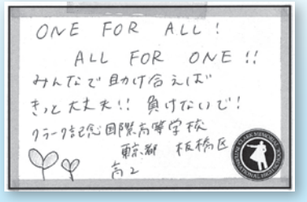
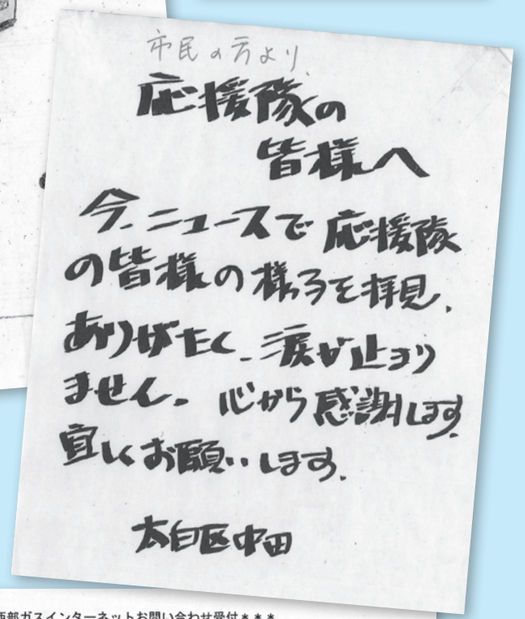
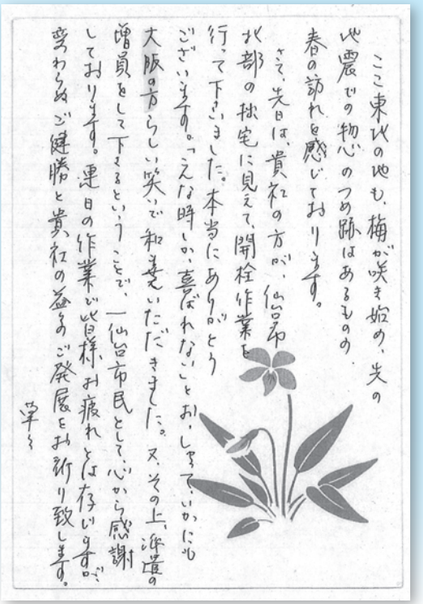
お客さまの声から

供給再開のために全国から集結してくれたJGA復旧隊の活躍は、お客さまに大きな感銘を与えてくれた。全国のガス事業者には、ハガキや電子メール等さまざまな形でお客さまの感謝の声が届いた。ここにその一部を紹介する。






ここ東北の地も、梅が咲き始め、先の
地震での物心のつめ跡はあるものの、
春の訪れを感じております。
さて、先日は、貴社の方が、仙台市
北部の私宅に見えて、開栓作業を
行って下さいました。本当にありがとう
ございます。「こんな時に、喜ばれないこと」と、おしゃっていたのにも
大阪の方らしい笑いで和まされました。又、その上、海道の
増員をして下さるということで、一仙台市民として、心から感謝
しております。連日の作業で皆様お疲れとは存じますが、
変わらぬご健勝と貴社の益々のご発展をお祈り致します。
草々

＊＊＊西部ガスインターネットお問い合わせ受付＊＊＊

担当部署　総務広報部広報室　御中

お問い合わせが届きました。・・受付日時：2011/04/12　18:11:31

■お問合せジャンル=[その他]
■内容
問い合わせではありません。
よけいな仕事を増やしてしまっていたらごめんなさい。
先日我が家に西部ガスの方が来てくれてガスの開栓をしてくれました。
３月１１日以来止まってしまったガス、水道、電気、ガスは当初２ヶ月はかかるといわれていました。
お風呂に入れない日が何日も続き、料理は卓上のガスコンロでまかなえましたが、お風呂ばかりはどうにもならず、ひさしぶりに入れたお風呂は、今までの人生の中で、どの温泉よりも気持ちの良いものでした。
遠くはるばる仙台まで来て、作業をしてくださった、西部ガスの方に本当に感謝しております。
ありがとうございました。
まだ余震も続き不便な生活ではありますが、他のどこかで災害が起こったとき、私も力になれるようになりたいと思っています。
感謝の気持ちを伝えたくメールさせて頂きました。
本当にありがとうございました。

日本ガス協会に感謝

東京ガス、大阪ガスなどさまざまなガス会社の車が仙台市内を行き交っています。震災でストップした都市ガス復旧のため、全国から駆け付けた日本ガス協会に所属する企業などの応援部隊の車両です。約4000人が傷んだガス管を修復するなどの作業に当たっています。仙台では宿が取れず、山形県から通う部隊もあります。仙台とは縁もゆかりもない人がほとんどだと思いますが、われわれのライフライン復旧のため寒空の下で頑張っている姿には頭が下がります。

応援部隊の人たちは朝、それぞれの班が拠点とする学校校庭などに集まった後、車や自転車、徒歩などで担当地区に向かい、夕方まで復旧作業に当たります。水道管からの漏水でガス管が水没しているところもあるなど復旧作業は容易ではないそうです。

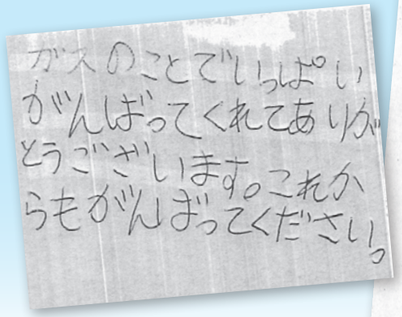
北仙台中（青葉区）を拠点にする大阪ガス南部隊副隊長の山田克己さん（47）は「3月22日に仙台入りしたときは『寒い』と思いましたが、今は体が慣れてきました」。作業中、市民から「ご苦労さま」と声を掛けられることが多いとのこと。「一日も早くガスを通そうという気持ちになります。励みになります」と笑顔で話しました。私の知人が開栓のために訪れた広島ガスの人に「感謝します」と礼を述べたところ、「東北の人は我慢強い。こんなに大変な状況でも、皆がお礼を言ってくれる。被災地ではこんなに感謝されたのは初めて。逆にお礼を言いたいぐらいです」と言って頭を下げたそうです。

2011. 3.27 17:06 P. 1

どうも ありがとう 北ガスの 点検員 さんへ

宮城県名取市 相互台 在住の
道産子です
今日、点検してもらって ガスが復旧
致しました
遠い所から 本当にありがとうございます
今晩から お風呂に入れるので
家族 皆 喜んでおります

全国のガス事業者の皆様へ
この度は 全国から 2700名の方が
応援に来てくださったことを 新聞で知り
大変 有難く思っております。
私の住宅には 広島の方が 来てくださいました。 あたり前の生活に慣れてしまい
感謝の気持ちも 忘れておりました。 20日
ぶりのお風呂 胸が熱くなる思いでした。
連続生活をしている方に 申し
訳ない気持ちですが、 その分 何かの形で
協力していこうと思っております。
震災では 世界の人々 全国の方々 あたた
かい気持ちをいただきました。 世の中まだ
まだ捨てたものではないと思いました。
皆様 それぞれ 各地方で お仕事 頑張
している中 本当に有難とうございました
心から 感謝申し上げます。 まる
続くでしょうが、 どうぞ よろしくお願い
致します。 そして 本当に有難とうございました
お疲れになりませんように。



＜ご意見・お問い合わせ＞

お問い合わせ選択項目：その他

記入内容：宮城県仙台市に住んでいる　　と申します。
この度の地震で、未だガスが使えない状態です。
ですが、連日市内で、東邦ガスの復旧隊の皆さんが、懸命に作業されてる姿ばかりを見かけます。
仕事とはいえ、ライフラインも完全ではない遠い仙台で、
大勢の作業員の方が私たちの為に復旧作業をしてくれている事に、とても喜びを感じます。。
地震で大変な思いはしましたが、他県の方々の暖かい思いに触れられた事は
最高に幸せなことだと思いました。
皆さん本当にありがとうございます。

静岡ガス
受信：4月11日
仙台市青葉区にお住まいの30代女性

＜件名＞
【お礼】開栓作業　ありがとうございました

＜内容＞
どちらにおれを言えば伝わるのかと思い、ご迷惑かとは思いましたが、こちらにメールを送信させて頂きました。

３・１１の震災で、ライフラインがこんなにも人の手がかかっていたことを思い知り、全国各地のガス会社の方が開栓作業に来て下さっていることで、とても勇気づけられました。

私の地域は市街地なため、ニュースのような被害はありませんが、全て止まったライフラインの中、自分の無力さを知るばかり。

震災当時は、雪も降るほど気温が低く、冷たい水にどれだけガスに頼って過ごしていたかもよく分かりました。

それでも周りの方は「水で頭洗った」「水で身体洗った」など、生命力を出し、そんな珍事件に驚いたり笑ったりしながら、ガスの復旧を心待ちにしておりました。

経験しないと分からないありがたみ。

「お湯を蛇口から出していて下さい」と言われ、でも気になって人差指で蛇口から出る水を触っていた時にお湯になった瞬間、たった一カ月のことだというのに、蛇口が不思議なものに思えました。

毎日の湯船が、良い意味で贅沢なことだったと感じています。

幸せなお風呂を頂こうと思います。

本当にありがとうございました。